

里山倶楽部 2015 年度第 9 回イベント 里山講演会
「里山の獣害対策-シカ・イノシシを絶対入れないために」

高柳 敦さん 京都大学大学院農学研究科

2015 年 10 月 4 日（日）午前 10-12 時

午前は野生動物の防除の専門家のお話をうかがった。

午後は捕獲の専門家から罠とネットの仕掛け方を学びました。

午前の講演は軽妙洒脱な話し方で楽しめました。配布されたプリント以外にも様々な写真を加えて説明していただきました。

（藤田）数日前、猿の群れが二丁目に出現。

（後日、三丁目在住の猟師の栗田さんに伺うと、稲刈り時以後に出現したのなら、これからは頻繁にやって来るようになるだろうとのこと。警戒が必要です）

（田畑代表あいさつ）

午前は講義、午後は現場で実習します。ネットは比叡平の 3ヶ所に張りました。

青い鳥の谷の約 400m と交流センター、やまびこ横の圃場です。高柳さんにはできるだけのアドバイスをお願いします。

① 私が招かれないほうが良いのですが、実はそこら中から講演に呼ばれて非常に忙しい状態です。獣の侵入は防御しても防げない。絶対入られないためには、どうすればいいのかをお伝えしたい。

② 植生にまで大影響

他所での被害。たとえば芦生（スライド）今では低層木にまで被害が及んでいます。何もない。以前は植生豊かな芦生と言われていたが、今は低層には何もない。

（他所から来た人にとっては）ショックである。それと比べると比叡平はまだまだ・・・

滋賀と福井の県境では茅場（ススキなどの原）だったところがハゲ山になって、土石流が起こるようになった。植生だけの問題ではない。

伊吹山ではイノシシが地面を浅く掘る。掘って何をしているのか不明です。

③ 年に 35 万頭以上捕獲しているが、捕っても捕っても減らない。たとえば鹿で言うと、毎年 50 万頭取らないと減らないだろう。

④ 豊かな森林を維持するのが「生息環境管理」

(具体例の写真)ほとんどの人は気づかないですが、たとえば、折れた木がある。よく観察すると、シカの歯型が残っている。噛んで折って葉先に届くようにして葉を食べている。

⑤ 生息頭数(横軸)と食物量(縦軸)のグラフ

獣の数が増えると、自然界の食物量以上に人里周辺の餌に手を出すようになり、人に被害を与える。被害量が少額であれば補償すれば済むが、現在では社会的に許容できる限界をとうに越している。個体を捕獲し、自然界人間界を防除しなくてはいけない。

⑥ 被害対策として捕獲と防除は両輪をなしている

⑦ 捕獲も防除も必要不可欠な手段

⑧ 野生動物との共存には防除が不可欠です

⑩ 和知町では集落全体を金網で囲んでいます

1 1. 江戸時代にも集落をシシ垣で囲んでいた(図は愛知県額田町)

同じことが江戸時代に行われていた。刀狩の後にも農家には獣除けのために鉄砲はあった。「生類憐れみの令」の後、捕獲ができなくなってシシ垣が作られるようになった。

高さ 2 m !! こうしないと生きていけない。まだオオカミはいたが、人が捕らなければ獣は減らない。

1 2. 明治以来、野生動物は増えすぎた

防除しないと造林できなかつた。

1 3. 造林の様子を示した図

フルメニューで防除しないと造林できない。皮剥ぎ止（左上）、 ? （右上）、柵（左下）

1 4. 京大の芦生研究林は、ほぼ全体をネットで囲った

（芦生の写真）雪が多いので、上げ下げネット柵にしてある。

尾根につくる方法。

谷ではネットは横張りにする。

2006 年から自然はどんどん回復してきた。獣は 5-11 月までしか捕っていないが。（冬の間は雪のために捕獲できない。）

1 5. 忌避剤も長期には効かない

1 6. 比叡平ではネット柵が有効

1 7. 電気柵

（聴衆に質問）

（正解は誰もなかった）

電気ビリビリだから入らないのではないのです。獣が電気柵で痛い思いをする。バンッ！！と痛みがくるので学習するのです。

1 8. 適切に電源装置を使用しないのが一番怖い。

流す電圧は 8000V ある。電流が小さくてパルスになっているので安全。握った手を離すことができる。

1 9. 獣が学習してこそ効果が続く。鼻先が触れると・・・体を電気が通り痛みを感じる。

体に触っても毛で覆われているので電気は通らないのです。電気柵で痛い効果を学習して入ってこなくなったと思って電気を切ると、安全だと学習してしまい、平気で柵を通るようになる。電気を切ってははいけません。

(閑話休題)

鞍馬火祭の薪はコバノミツバツツジだった。今年、鞍馬の住民が採集に行くとなっていた。鹿が食べたのでしょう。他所で調達したそうです。

20. 以下は、設置の基本と柵の構造

21. 比叡平ではどんな柵が良いのかお話しします。

22, 23. 芦生演習林では 13km にわたってシシ避けの柵を作った。1年目は柵の周りにたくさん来ていた。入れないと、そのように学習する。彼らは本気で入ろうとしているので断じて入れてはいけない。

こっちも本気にならないと負けます。

24.

- ② 気を抜かずにやる。
- ④ (里山倶楽部でネットを貼っての経験からもそう思います。)
- ⑤ (その通り。)
- ⑦ 注意して周りを見てみましょう。
- ⑧ 張った後も管理・補修を十分に。

25.

・ 柵の下部にはステンレス入りのネットが良い。地際を 30 cm 覆う。

・ ネットが 10 cm 穴だと 1 本噛み切ると直径 20 cm になる。これではシカが入ってくる。5 cm 穴だと 3 本切られても OK。生まれたばかりの子鹿だと、5 cm 穴でも頭が入る。

② 高さ不足の時は上にロープを引いておけば入らないだろうと思うのは間違い。跳ぶのは大変だけれど体重をかけて乗り越えてくる。

③ 穴が 30 cm あれば、どんな鹿でも入る。臼歯で網糸を噛み切る。比叡平では網の高さはあっても、ネットが弱いので穴を開けられている。

④ 走り高跳びができるのは人だけ。えらい技術が必要。獣は天性のジャンパーで立ち幅跳びで 2 m 以上跳べます。

26. 徹底的に防げば警戒して1年は来なくなる。

27. 行政入札制度では設備に安いものを選ぶので、価格競争の中で規格が劣化していく。それでは困るので、きちんとした規格をつくった。

28. 網の高さは2m以上。たるんでも1.8mはあるように。

破損箇所を見つけたら、その場ですぐに補修する。結束バンドが役に立つ。

29. AF (Ashu Forest) 規格のネット

30. 地面に這わせたネットはペグを互い違いに打って固定する。

32～40. 防護柵の設置法

(開演後1時間経過) 午後は宝ヶ池で講演します。呼ばれないほうが良いのですが、最近はお呼びがかかりすぎる。こちら(比叡平)で午後は参加できません。

35. 青い鳥の谷は全体を見て回りましたが、里山倶楽部で設置したネットは南東部が弱いです。

36. 地形に合わせるのは支柱で。アンカーで押さえるのではない。

37から40はその具体例。

41. ネットを張る時の注意点。網は適正に。

42. 入り口は最も入られやすい場所

(午後の兵田さんからは、実際に鹿が入ろうとアタックしていると指摘されました。)

43. 青い鳥の谷のあちこちにイワヒメワラビが生えているのは、鹿が食害を進めて数年は立っていることを示しています。今も食べ物があると、入ってこよう

とする。

4 4. (配布されたスライドの写真は肝心の図がずれて隠れていました。)

ネットは 160cm の高さがないところがあると危険です。

4 5. 高さはあってもネットの下と地面の間が開いていると危険です。

4 7. 青い鳥の谷入口横にシカの出入りしている跡がある。気を抜かずに塞いで下さい。イノシシには繊維ネットは役に立ちませんが、シカには有効です。

【質疑応答】

Q (藤田) シカの雄と雌の違い。ジャンプ力は？

A 研究はない。どちらも 2 m は跳ぶだろう。2.5m あれば OK だと思う。

「シカになって考えましょう。」

ネット越しに中が見えると入ってしまう。ネットの下には枝などを置いて向こうが見えないようにすると良い。ネットの外に置くなら、どけられない大きなもの重いものを。

「防除はシカとの対話」

高柳がいま住む山科？では年間 100 頭捕れる。

食肉処理施設がないと売れない。

Q シカが増えないように。避妊したらどうか。

A 殺したほうが金がかからない。

Q 川、谷、凸凹がある所に、どうネットを張るのか。どう防除したらよいか。

A 川を塞ぐようにネットを張ると大水で枯木が引っかかってダムになり、ダムが決壊すると水害になります。そこで、ワイヤメッシュは 50-70 cm 高に幅 2 m で水平に張る。やわなネットで良い。体が触れると簡単に壊れるような弱いネットで良いのです。それに接して上流に、下は 50 cm 空けて 2 m の高さのネットを張る。芦生でも八丁平でも、これでやろうとしている

Q (最上) ステンレス入のネット、幅 1 m のものを購入した。今張ってあるネ

ットの外に張るのと内に張るのとどちらが良いか。

A シカになりきれないのでわかりません。(笑)

Q (島田) 夜に車のライトの中に飛び込んだりするののか。

A 鹿は虫ではないです。親が子を追いかけて・・・かな。夜に起こりやすい。

Q (藤井) 鹿の糞は害があると聞きました。ダニがいると、近所の農学部の先生が気にしています。

A 糞の中にダニが居るということはない。マダニは外部寄生虫です。

A (兵田) 奈良公園で糞に害があるのなら鹿を自由に歩き回らせることはないでしょう。

Q (二村) 食肉処理施設はいくら位の値段で作ることが出来るのでしょうか。

A 厚生省のHPに載っています。200万円くらいで作れるとパンフレットに載っている。

シカ肉は300円/100g。鉄分が多く、カロリーが少ない。食べ方を工夫すれば美味しいです。

Q (女性) 住居近所にシカがたくさん出ます。巣を狙って一網打尽にできないのでしょうか。

A 雪があれば集まるが、そうでなければ集まることはないのでねえ。

A (兵田) 宝ヶ池でも少し集まる場所はあるが、一度捕獲しても再度集まる。大量捕獲器で捕ると、体が傷むので食肉にならないです。

子どもに危険がないように。ダニに注意。

シカがいれば、ダニはいます。

最後に、

【鹿ネットの要件と補修法】

ネットの破れは結束バンドで簡単に繕える。

持ち上がらないように下をチェック。地面を30cm覆う。

高さ。最低1.6~1.8mはあることを確認

この講演を聴いた後、当里山倶楽部でもネット張りに本腰を入れ始めました。

(文責 影山哲男)